

平成 28 年度

提出する年度を入力
してください。

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I 類	I 類 A事業所のみを有する特定事業者
	II 類 B事業所を有する特定事業者 (III 類の事業者を除く)
	III 類 C事業所を有する特定事業者
	IV 類 任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	三井不動産株式会社	
所在地	東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号	
事業者番号	0142	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	11,886	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m ² 以上の事業所)	60,000	m ²
産業分類名 (中分類)	不動産賃貸業・管理業 (テナントビルを含む)	
分類番号 (中分類)	69	
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 資本金等)	<p>事業概要： 街づくり推進事業、海外事業、オフィスビル事業、 商業施設事業、ホテル事業・リゾート事業、 不動産ソリューションサービス事業、 ロジスティクス事業、ベンチャー共創事業、 S & E 総合研究所、ケアデザイン室</p> <p>従業員数： 1,332名 (2016年3月31日現在) 資本金： 339,766百万円 (2016年3月31日現在)</p>	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
A、Bテナント等事業所			
A	14200	三井不動産ロジスティクスパーク八潮(屋上PV除く)	196
B、C事業所			
B		ららぽーと富士見	8,714
C	14201	ララガーデン川口	2,976
合計			11,886

(4) 公表方法

<input type="radio"/>	インターネット利用による公表	アドレス	http://www.mitsuifudosan.co.jp
<input type="checkbox"/>	事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	
		所在地 1	
		閲覧可能時間 1	
		閲覧場所 2	
		所在地 2	
		閲覧可能時間 2	
<input type="checkbox"/>	その他		

(5) 公表の担当部署

	名称 (複数可)	連絡先		
		電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1	社会・環境推進室	03-3246-3063	03-3246-3167	
2				
3				

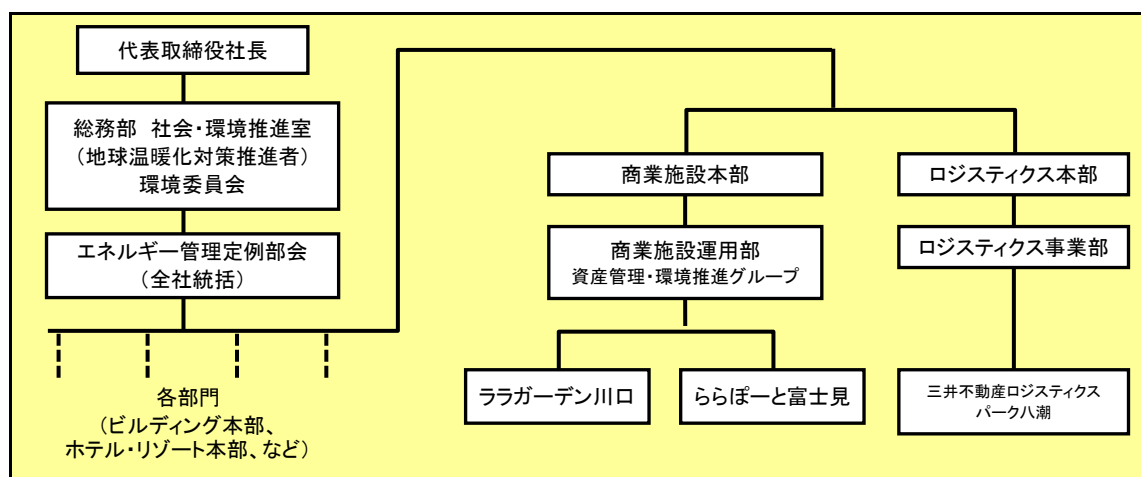
※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

三井不動産グループ環境方針

1. 環境効率性の向上と環境負荷の低減、省エネルギー・省資源と廃棄物削減、汚染の防止に努め、地球温暖化対策と循環型社会の形成をめざします。
2. 低炭素に加え、水環境・生物多様性の保全、分散・自立型エネルギーの導入などを幅広く、統合的に推進し、環境負荷の低減と安全・安心、快適性の向上の双方をめざします。
3. 顧客、地域、行政などコミュニティと連携・協力して、「環境との共生」に積極的に取り組み、持続的発展が可能なまちづくりと、実効性の高い環境施策を展開します。
4. スマートシティなど環境配慮型まちづくりを国内外で展開し、未来のまちづくりをリードする環境先進企業をめざします。
5. 環境関連の法規制の遵守はもとより、必要に応じ独自の基準を定めて、「環境との共生」を推進します。
6. 環境教育、啓発活動などにより、三井不動産グループ全従業員に環境方針の周知徹底と環境意識の向上を図ります。
7. 環境への取り組み状況など、必要な情報の開示に努め、広報活動などを通じて広く社会とコミュニケーションを図ります。

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量(事業所合算)の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)
エネルギー起源CO ₂	23,100				
その他ガス					
温室効果ガスの合計	23,100				

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成	28	年度	事業者番号	142	事業所番号	014200
----	----	----	-------	-----	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	三井不動産ロジスティクスパーク八潮(屋上PV除く)		前年度における事業所数	2
代表事業所所在地	市区町村	八潮市南後谷		
	字・地番	99番1		
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)				
産業分類名(中分類)	倉庫業			
分類番号(中分類)	47			
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	不動産業による貸倉庫 敷地面積: 23,422.23m ²		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	27	年度	～	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	削減目標の設定に際し、平成27年度の排出実績を鑑みてCO ₂ 排出原単位 0.0091(t-CO ₂ /m ²)を基準として、基準から年平均1%以上ずつ低減できるよう取り組みの検討および可能な事項の実施を図ります。ただし入居率、テナント専用部での使用形態等が将来的に変化することを鑑み、基準目標値は前年度の排出実績等を考慮して適時見直すこととします。			
	その他ガス	該当がありません。			

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		年度	～		年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)				
	その他ガス				

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	三井不動産ロジスティクスパーク八潮(屋上PV除く)	八潮市南後谷99番1
2	三井不動産ロジスティクスパーク八潮(屋上PVのみ)	八潮市南後谷99番1
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本工業規格A列4番

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	196				

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO ₂	382				
その他ガス	非エネルギー起源 CO ₂				
	メタン				
	一酸化二窒素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六ふっ化いおう				
	三ふっ化窒素				
温室効果ガスの合計	382				

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO ₂ 排出量原単位	0.0091				
活動規模の指標	○ 床面積 m ²	41,943			

平成 28 年度

事業者番号

142

事業所番号

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	B 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL以上の事業所（種別Cの事業所を除く）
B	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	ららぽーと富士見	
事業所所在地	市区町村	富士見市
	字・地番	山室一丁目1313番
産業分類名(中分類)	各種商品小売業	
分類番号(中分類)	56	
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	商業施設の不動産賃貸業 従業員数 約3,500[人] 敷地面積 152,055.88[m ²]、店舗面積約60,000[m ²] 平成27年2月28日竣工、平成27年4月10日開業

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間		27	年度	～	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	B事業所に該当する期間においては、平成27年度排出量(16,975t-CO ₂)を基準として、前年度より毎年1%以上の削減を目指します。平成30年度からはC事業所となる見込みであるため、基準排出量が決定するまでは平成27年度～29年度の排出量平均を暫定基準として、平成30年度～31年度の排出量を8%以上削減できるよう取り組みを推進します。				
	その他ガス	該当がありません。				
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量 (計画期間合計)		t-CO ₂	事業所区分		
	削減目標量 (計画期間合計)		t-CO ₂			

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間			年度	～		年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	8,714				

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂		16,944				
その他 ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		16,944				

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位				0.0922				
活動規模の指標	○	床面積	m ²	183,859				

平成 28 年度

事業者番号 142 事業所番号 014201

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	ララガーデン川口		
事業所所在地	市区町村	川口市	
	字・地番	宮町18番9号	
産業分類名(中分類)	各種商品小売業		
分類番号(中分類)	56		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	商業施設の不動産賃貸業 従業員数:約400名 敷地面積:30,464.06[m ²]	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間		27	年度	~	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	第2計画期間は、基準排出量に対し削減計画期間の平均削減率を15%以上とします。				
	その他ガス	該当がありません。				
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	30,572	t-CO ₂			
	削減目標量(計画期間合計)	4,813	t-CO ₂	事業所区分	第1区分-(1)	

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間			年度	~		年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	2,976				

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

 CO₂換算(t-CO₂)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂		5,774				
その他 ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		5,774				

 (3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

 CO₂換算(t-CO₂/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位				0.0959				
活動規模の指標	○	床面積	m ²	60,179				

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	7,077	t-CO ₂ /年
基準排出量検証	基準年度検証実施済	

(2) 基準排出量の変更

変更年度		変更量	
変更年度		変更量	
変更年度		変更量	

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第1区分- (1)
----------	-----------

(4) 削減計画期間

27	年度から	31	年度まで
----	------	----	------

(5) 年度ごとの状況

		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	削減期間 合計	
基準 排 出 量 等	基準排出量(A)	7,077	7,077	7,077	7,077	7,077	35,385	
	トップレベル認定							
	目標削減率(B)	8.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%		
	排出上限量 (C = ΣA-D)							30,572
	排出削減目標量 (D = Σ(A×B))							4,813
実績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	5,774					5,774	
	排出削減量 (F = A - E)	1,303					1,303	
特例	高効率設備の 算定量(※)							

※ 算定を希望する場合のみ記入する。別途、算定資料(任意様式)を添付すること。

 (6) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

・平成27年度内にテナント入替に伴う改装工事が発生したため排出量が減少した。